

## 成果報告書

### 1) 会議

会議名: 人材育成協議会

目的: 連携機関の事業実務者から構成され、本事業を統括した。

教育プログラムの構築、開発を行った。

検討の具体的内容:

教育プログラム開発のために受講者ニーズの把握を行い、プログラム開発の方向性を検討する。プログラムの構成(e ラーニング、対面)、開発コンテンツの内容、提供するプラットフォームの検討を実施した。

委員数: 15 名

開催頻度: 1回

### 2) プログラム開発

本事業においては、農畜産関係者および指導者(産業動物臨床獣医師)を対象に、e ラーニングを活用した事前学習・事後学習システム(新規開発予定)を構築するとともに、映像等だけでは理解が困難な点については、直接対面による集中講座(既存)を開設した。

#### 1. 名称、ポリシー

①講座名: 産業動物(馬・牛)臨床獣医師の学び直しのための馬救急医療実践力育成プログラム

対象者: 産業動物(馬)臨床獣医師 主として大学卒業後数年以上経過した世代、育児終了世代など

学習目標: 最新の知識と技術を学び直す、農畜産関係者への指導力向上

③講座名: 産業動物(牛・馬)群管理(飼養管理)のための馬予防医学実践力育成プログラム

対象者: 農畜産関係者 主として大学卒業後数年以上経過したスキルアップを目指す世代、育児終了世代、など

学習目標: 最新の効率的な技術の学び直し、コミュニケーションスキルの学び直し、農畜産関係者の就労先拡大

#### 2. 科目構成、各科目の目的、概要

e ラーニングを活用した事前学習を行い、対面学習(受精卵移植、産業動物(牛・馬)群管理、コミュニケーションスキル、Hands-on 臨床トレーニング)を実施し、e ラーニングを活用した事後学習、継続的生涯学習を行った。

・科目構成、目的、概要(仮)

- ①一般診断治療手技(血液検査・静脈留置・感染症診断・バイオプシー・内視鏡・超音波学習)
- ②ショックと SIRS の管理(緊急時の麻酔・疼痛管理・栄養学ガイドラインを学ぶ)
- ③重度外傷の標準的治療(形成外科基本手技を学ぶ)
- ④眼・鼻・副鼻腔・咽喉頭・気管・肺の疾患の診断治療法
- ⑤胃・腸・肛門・ヘルニア・心臓の疾患の診断治療法
- ⑥泌尿・生殖器の疾患の診断治療法
- ⑦口腔・歯の疾患の診断治療法
- ⑧筋肉・腱・靭帯・腱鞘・滑液包の疾患の診断治療法
- ⑨骨・関節の疾患の診断治療法
- ⑩蹄・新生児の疾患の診断治療法

### 3. 開発プラットフォームの種類

e ラーニングについては、MOOC(NTT ドコモ、gacco)を用いた事前動画学習を開発するとともに、山口大学が導入している Moodle を利用した。

### 4. 単位・時間数

1講座あたり事前学習、対面学習、事後学習とも各5日間の 15 日間(仮)。カリキュラム内容のバージョンアップを行い講座終了後も継続的な学習を可能とした。受講者に対して e ラーニングシステムへのアクセス ID ならびに PW を発行し、事前学習コンテンツ(MOOC プラットフォームを利用した講義要約ビデオ(30分)×30コマ中10コマなど、5日間で学習できる範囲を設定)により、予習学習を実施。対面学習では受講生は、集中実地学習に合わせ受精卵移植、産業動物(牛・馬)群管理(飼養管理)カリキュラム、コミュニケーションスキル、馬 Hands-on 臨床トレーニングなどのプログラムごとのデジタルコンテンツ(Glexa を利用したバーチャルスライド、動画など)を ipad などのタブレット端末により受講した。対面学習後には、eラーニングシステム(MOOC ならびに Moodle)を用いて、事後学習コンテンツ(授業ビデオ、スライド、確認問題など)を受講することで高い教育効果を目指した。さらに、eラーニングシステムの一部(Moodle など)を受講者IDならびにPWを講座終了後も利用可能とすることで、継続的な学習を可能とする。コンテンツは1講座あたり 30 時間(大学講義2単位相当、仮)を作成した。

### 5. 学習効果

本カリキュラムは e ラーニングを積極利用することにより、テキストを PDF 化して ipad で学習し、さらに Hands-on 臨床トレーニング教材を日本全国において容易に入手できるシミュレーターを活用することで、受託校以外においても実施が可能とした。そして、本事業を活用することで、e-ラーニングシステムを用いた事前予習、対面授

業における動画コンテンツ、復習用確認問題等のカリキュラムを完成させ、事業終了後においても社会人の学び直し講座が継続的に運用できることを目指した。さらに、同様の課題を抱える地方地域におけるモデル事業として普及を図るため、日本獣医師会のネットワークを広く利用した。

## 調査報告書

調査名：海外教育カリキュラム・プログラム運用調査

調査目的：教育カリキュラム・プログラム先進国の欧米において、①「農畜産関係者：受精卵移植、コミュニケーションスキルおよび産業動物(牛・馬)群管理(飼養管理)カリキュラム」②産業動物臨床獣医師(馬)の Hands-on 臨床トレーニング教育カリキュラム開発のため先進国の実践方法を調査した。

調査対象：米国カリフォルニア大学獣医学部・パドゥー大学獣医学部

調査手法：大学開講期間に授業・実習に参加し、実際の教育カリキュラム・プログラムの運用情報を収集して分析を行った。

調査項目：農畜産関係者(人工授精師、動物看護師、農畜産技術者、飼養管理技術者)および馬臨床リカレント教育(卒後教育)プログラム調査した。調査の具体的内容として①AIから分娩に至る繁殖技術、②ETの繁殖技術、③長期不受胎時の対応、④最新の知見、⑤授精師としての農家とのコミュニケーション方法、⑥動物看護師の生涯教育システム、⑦飼養管理、⑧救急医療など

分析内容(集約項目)：教育カリキュラム・プログラムの作成方法、配信方法、学習評価方法、効率評価について分析を行った。

調査結果の成果への活用方法：開発するプログラムにおいて地域特性にあった教育カリキュラムとして反映した。

## 広報ツール

方法:山口大学共同獣医学部にホームページを作成し、広報を行った。

URL: <http://equine.vet.yamaguchi-u.ac.jp/>

山口大学 共同獣医学部  
YAMAGUCHI UNIVERSITY  
Joint Faculty of Veterinary Medicine  
社会人学び直し講座

HOME 講座概要 学習の流れ 講座一覧 募集要項 お問い合わせ

HOME > お問い合わせ

お問い合わせ先

山口大学共同獣医学部 (学務係)

|      |  |
|------|--|
| 住所   | 〒753-8515 山口県山口市吉田1677-1   |
| TEL  | 083-933-5808 (※土日祝日を除く9:00~17:00)  |
| FAX  | 083-933-5812   |
| MAIL | <a href="mailto:vetakumu@yamaguchi-u.ac.jp">vetakumu@yamaguchi-u.ac.jp</a> |

地域産業中核的人材養成事業 社会人学び直し講座  
山口大学 共同獣医学部 〒753-8515 山口市大学吉田1677-1 TEL: 083-933-5940 FAX: 083-933-5820  
Copyright © 2019 山口大学共同獣医学部 All Rights Reserved.